

《担当者名》教授 / 小林 道也

【概要】

医薬品の体内動態は、疾病の種類や程度によって多様に変動する。本講義では、薬物動態を制御する生理的要因を理解し、種々疾患時や加齢・性差による薬物動態変化の機序について最新の知見を修得する。

【学修目標】

- ・薬物の体内動態を制御する生理的要因を説明できる。
- ・種々疾患時における薬物動態変化の機序を説明できる。
- ・加齢や性差による薬物動態の変化について概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	薬物動態制御因子1	薬物吸収に関する最新の知見を学び、吸収を制御する生理的要因を概説できる。	小林 道也
2	薬物動態制御因子2	薬物の分布に関する最新の知見を学び、分布を制御する生理的要因を概説できる。	小林 道也
3	薬物動態制御因子3	薬物代謝に関する最新の知見を学び、代謝を制御する生理的要因を概説できる。	小林 道也
4	薬物動態制御因子4	薬物の腎排泄に関する最新の知見を学び、腎排泄を制御する生理的要因を概説できる。	小林 道也
5	薬物動態制御因子5	薬物の胆汁中排泄に関する最新の知見を学び、胆汁中排泄を制御する生理的要因を概説できる。	小林 道也
6	肝疾患と薬物動態1	肝疾患時における代謝酵素と薬物トランスポーターの活性変化を理解し、それに伴う薬物動態変化について説明できる。	小林 道也
7	肝疾患と薬物動態2	肝疾患時における肝血流量変化を理解し、それに伴う肝クリアランス変化について説明できる。	小林 道也
8	心不全と薬物動態	心不全時や心筋梗塞時における生理的变化を理解し、それに伴う薬物動態変化について説明できる。	小林 道也
9	腎疾患と薬物動態1	腎機能低下時の腎排泄変化を理解し、慢性腎臓病患者や血液透析患者における薬物投与の注意点を説明できる。	小林 道也
10	腎疾患と薬物動態2	腎機能低下時の腎外クリアランスの変動要因を理解し、腎疾患時における肝代謝型薬物の動態変化を説明できる。	小林 道也
11	内分泌疾患と薬物動態	甲状腺機能異常や糖尿病における薬物動態変化を理解し、内分泌疾患における薬物投与の注意点を説明できる。	小林 道也
12	急性期における薬物動態	外傷、外科手術及び熱傷時における薬物動態変化を理解し、急性期における薬物投与の注意点を説明できる。	小林 道也
13	加齢による薬物動態変化	加齢による薬物動態変化を理解し、高齢者における薬物投与の注意点を説明できる。	小林 道也
14	性差と薬物動態	妊娠時及び月経周期による薬物動態変化を理解し、女性における薬物投与の注意点を説明できる。	小林 道也
15	肥満と薬物動態	肥満による薬物動態変化を理解し、肥満者における薬物投与の注意点を説明できる。	小林 道也

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

受講態度(10%)とレポートの評価(90%)により成績を評価する。

【教科書】

加藤隆一著「臨床薬物動態学」改訂第4版、南江堂

【学修の準備】

教科書を事前に一読しておくこと。